



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 クオリップス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4894 URL <http://cuorips.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草薙 尊之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 谷村 忠幸 TEL 03-6231-0043
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無（当社ホームページにて決算説明動画を配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	207	674.2	△771	—	△734	—	△732	—
2025年3月期第3四半期	26	77.3	△564	—	△608	—	△611	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 △771百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 △610百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△89.31	—
2025年3月期第3四半期	△76.58	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	5,214	5,031	94.7
2025年3月期	5,741	5,529	96.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 4,940百万円 2025年3月期 5,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	212	21.0	△1,024	—	△981	—	△983	—	△119.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,265,366株	2025年3月期	8,109,116株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	15,896株	2025年3月期	15,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,196,632株	2025年3月期3Q	7,989,123株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会について）

決算説明会に代えて、2026年2月13日に決算説明動画を当社ホームページにて配信予定です。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、我が国においては雇用・所得環境の改善が進み、国内景気は緩やかに回復していますが、依然として物価上昇は継続しています。また、世界経済においては各国の通商政策の影響を受け一部で弱めの動きも見られるものの、緩やかな金融環境等の下支えにより、総じて緩やかに成長しました。しかしながら、地政学リスクの高まり等もあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下で、当社グループはヒトiPS細胞由来心筋細胞シートの研究開発を中心に事業活動を推進してまいりました。主なプロジェクトの研究開発状況は以下のとおりであります。

PJ1 ヒトiPS細胞由来心筋細胞シート（対象疾患：虚血性心疾患（国内））

当社は、虚血性心筋症（ICM）による重症心不全を適応症とするヒトiPS細胞由来心筋細胞シートの製造販売承認の取得に向け、国立大学法人大阪大学（以下、大阪大学）が実施する医師主導治験を支援してまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、2025年4月に厚生労働省に対し製造販売承認申請を行いました。申請後は規制当局による審査やGCTP適合性調査等に対応してまいりました。GCTP適合性調査は、国内外の製造所に対して、その製造設備に加え、製造管理及び品質管理の手法が再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準であるGCTP（Good Gene, Cellular, and Tissue-based Products Manufacturing Practice）に適合しているかどうかを調査するものであり、当社の商業用細胞培養加工施設「CLiC-1」に対して調査が行われました。

また、2025年10月には厚生労働省より希少疾病用再生医療等製品として指定を受けました（指定番号（R7再）第37号）。希少疾病用再生医療等製品の指定制度は、医療上、特にその必要性が高いもの等を条件に厚生労働大臣が指定するものであり、その指定を受けることで独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）等による指導・助言等の支援措置を受けることが出来ます。また、希少疾病用製品として指定を受けた品目は、保険償還価格算定時の加算対象となります。

今後は、患者様に一日も早くヒトiPS細胞由来心筋細胞シートを提供できるよう製造販売後調査に向けた供給体制の整備等を進めてまいります。

PJ2 ヒトiPS細胞由来心筋細胞シート（対象疾患：拡張型心疾患（国内））

大阪大学はヒトiPS細胞由来心筋細胞シートに拡張型心筋症（DCM）を効能追加するための研究開発を進めています。拡張型心筋症（DCM）の研究開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和5年度「再生医療等実用化研究事業」として採択されています（公募課題「拡張型心筋症に対するヒト（同種）iPS細胞由来心筋細胞シートを用いた臨床試験」）。前連結会計年度より医師主導治験が開始され、2症例の被験者に移植が行われました。当社は被験者に移植するヒトiPS細胞由来心筋細胞シートを作製し、大阪大学に提供いたしました。

PJ3 ヒトiPS細胞由来心筋細胞シート（対象疾患：虚血性心疾患（海外））

ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートについては、日本だけでなく海外でも製造販売承認の取得を計画しております。

当第3四半期連結累計期間において、スタンフォード大学心臓胸部外科との共同研究開発を本格的に開始しました。既存のヒトiPS細胞由来心筋細胞シートを米国向けに改良した製品や新しいコンセプトのヒトiPS細胞由来製品の開発を行うことを目的に、心筋梗塞プタの心臓に移植する動物実験からなる共同研究プログラムを実施しております。

また、米国向けに改良した製品に関しては、米国食品医薬品局（以下、FDA）と治験許可申請前相談会議（pre-IND会議）を行いました。品質・前臨床・臨床の全般にわたり本製品の開発計画をFDAと協議し、First-in-Human試験の計画概要を含めた今後の方針について概ね合意を得ることができ、米国での治験許可申請（IND申請）に向けた準備を進めております。

PJ4 カテーテル

ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートと比べ、軽度の心筋症に対応するパイプラインとして、カテーテルによる血管内アプローチによりヒトiPS細胞由来心筋細胞を心臓へ移植する新たな治療技術の開発を、朝日インテック株式会社（本社：愛知県瀬戸市）との共同開発により進めております。同社が有するカテーテル製品開発技術と当社のヒトiPS細胞由来心筋細胞を組み合わせることにより、新しい治療技術を創出します。

当第3四半期連結累計期間においても、引き続き朝日インテック株式会社との共同研究開発を進めております。

PJ5 体内再生因子誘導剤

オキシム誘導体 (YS-1301) の低用量使用により体内再生因子 (HGF、VEGF、SDF-1、HMG1等) が誘導される薬理作用に基づき、細胞保護、抗線維化、抗炎症作用による血管新生、組織再生が期待されます。肝硬変・非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) (※1)、閉塞性動脈硬化症 (ASO) (※2)、慢性腎不全 (CKD) (※3)、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (※4) 等への治療薬としての研究開発を行っております。

大阪大学と肝硬変・肝切除等を対象とする共同研究を実施していますが、当第3四半期連結累計期間において、大阪大学から肝硬変に関する研究論文が発表されました。当論文では、肝硬変による肝繊維化に対する治療において有望なオプションとなることを示しています。

タイトル : Slow-Release Prostacyclin Agonist-Immersed Sheet Implantation Suppresses Liver Fibrosis
via Hippo Signaling Pathway Activation

雑誌名 : Hepatology Research

著者名 : 江口 英利 (大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学 教授) ほか

URL : <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/hepr.14228>

(※1) 肝硬変・非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) : 非アルコール性脂肪性疾患の一部。脂肪変性、炎症、肝細胞障害等を伴う。病状が進行した場合、肝硬変や肝臓がんにもつながる。Nonalcoholic Steatohepatitisの略。

(※2) 閉塞性動脈硬化症 (ASO) : 手足の血管動脈の硬化が進行し、狭窄や閉塞が発生することにより、血流が悪化する病気。手足に酸素、栄養分の供給が不足することとなり、冷感、しびれ感、間歇性跛行 (歩行中の足の痛み)、疼痛、潰瘍、壊疽等の症状が発生し、症状が進行した場合には、手足の切断に至る場合もある。

Arteriosclerosis Obliteransの略。

(※3) 慢性腎不全 (CKD) : 腎臓の機能が低下し、老廃物を十分に排泄できなくなった状態。病状が進行した場合、定期的な透析や腎臓移植が必要となる。Chronic Kidney Diseaseの略。

(※4) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) : タバコ等の有害物質を長期吸引することで発症する病気。以下のような症状を伴う。①気管支に炎症がおき咳や痰が出る、気管支が細くなることによって空気の流れが低下する。②気管支の奥にあるぶどうの房状の肺胞が破壊され、酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下する。Chronic Obstructive Pulmonary Diseaseの略。

CDMO事業

ヒトiPS細胞由来心筋細胞シートの研究開発を通じて培った大量培養技術・ノウハウや、効率的かつ実効的な最先端の商業用細胞培養加工施設「CLiC-1」を活用して、様々な細胞製品のCDMO事業にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間において、経済産業省の「再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備投資支援事業」である令和6年度補正「再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備支援事業費補助金 (再生CDMO補助金)」に申請し、「新技術導入促進枠」として採択されました。本事業は、再生・細胞医療・遺伝子治療製品を円滑に製造できる能力を国内に確保し、日本の創薬力の強化及び再生・細胞医療・遺伝子治療製品の受託製造業を輸出産業とすることを目的としています。当社は本補助金を設備投資等に活用することで、さらなる大量製造技術を確立し、供給能力の向上を図ってまいります。

上記に加え、「2025年日本国際博覧会」(大阪・関西万博) や日本テレビ主催の「カラダWEEKイベント」等において、当社が開発・製造したiPS心臓や心筋細胞シートを提供いたしました。これらの展示を通じて、国内外から様々な反響や引き合いがあり、海外での事業展開やパートナー探索も含めた様々な事業戦略を検討しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高207,254千円 (前年同四半期比674.2%増)、営業損失771,389千円 (前年同四半期は564,775千円の損失)、経常損失734,407千円 (前年同四半期は608,923千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失732,120千円 (前年同四半期は611,862千円の損失) となりました。

当第3四半期連結累計期間において発生した研究開発費 (総額) は719,531千円 (前年同四半期比8.2%減) でありましたが、当社グループは共同研究開発パートナーから共同研究開発費 (以下、共同研究開発費受入額) を受領しており、共同研究開発費受入額を控除した金額445,960千円 (前年同四半期比69.1%増) を販売費及び一般管理費において研究開発費として計上しております。

なお、当社グループは、再生医療等製品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ481,666千円減少し、4,643,449千円となりました。これは主に、未収入金や前渡金の増加によりその他流動資産が690,580千円増加した一方で、研究開発費、事業運営費の支出や運転資金の増加等により現金及び預金が1,022,037千円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ44,965千円減少し、571,527千円となりました。これは主に、減価償却費の計上によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ526,632千円減少し、5,214,977千円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ52,012千円減少し、125,303千円となりました。これは主に、未払金が49,716千円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ24,033千円増加し、58,629千円となりました。これは主に、その他固定負債（長期未払金）が24,412千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ27,978千円減少し、183,932千円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ498,653千円減少し、5,031,044千円となりました。これは主に、新株予約権の行使等により資本金が91,638千円、資本剰余金が96,909千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失732,120千円を計上したことによる減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの連結業績を勘案し、現状、入手可能な情報や予測等に基づき、修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,594,824	3,572,786
売掛金及び契約資産	160,090	74
有価証券	199,000	223,553
棚卸資産	45,468	30,721
その他	125,733	816,313
流動資産合計	5,125,116	4,643,449
固定資産		
有形固定資産	514,663	469,935
無形固定資産	30,271	30,033
投資その他の資産	71,558	71,558
固定資産合計	616,493	571,527
資産合計	5,741,609	5,214,977
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	5,928
未払法人税等	24,241	14,457
契約負債	2,860	—
未払金	132,219	82,502
預り金	7,031	21,932
その他	10,963	482
流動負債合計	177,315	125,303
固定負債		
資産除去債務	28,510	28,565
繰延税金負債	6,084	5,651
その他	—	24,412
固定負債合計	34,595	58,629
負債合計	211,911	183,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667,364	1,759,003
資本剰余金	6,565,846	6,662,756
利益剰余金	△2,746,480	△3,478,601
自己株式	△12,589	△12,849
株主資本合計	5,474,141	4,930,309
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,558	9,866
その他の包括利益累計額合計	44,558	9,866
新株予約権	8,209	70,482
非支配株主持分	2,788	20,386
純資産合計	5,529,698	5,031,044
負債純資産合計	5,741,609	5,214,977

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	26,769	207,254
売上原価	5,126	81,070
売上総利益	21,642	126,183
販売費及び一般管理費	※ 586,417	※ 897,573
営業損失（△）	△564,775	△771,389
営業外収益		
受取利息	998	9,405
有価証券運用益	7,787	16,606
為替差益	—	9,543
受取手数料	3,000	—
その他	88	1,427
営業外収益合計	11,875	36,982
営業外費用		
為替差損	35,130	—
創立費	19,150	—
その他	1,742	0
営業外費用合計	56,023	0
経常損失（△）	△608,923	△734,407
税金等調整前四半期純損失（△）	△608,923	△734,407
法人税等合計	3,317	2,830
四半期純損失（△）	△612,240	△737,238
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△378	△5,118
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△611,862	△732,120

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純損失（△）	△612,240	△737,238
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,243	△34,066
その他の包括利益合計	1,243	△34,066
四半期包括利益	△610,997	△771,304
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△610,619	△765,561
非支配株主に係る四半期包括利益	△378	△5,743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、再生医療等製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	56,183千円	61,369千円

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費に含まれる研究開発費の総額

当社グループは医薬品・医療機器メーカー、大学等の研究機関と共同研究開発を行っております。

四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に含まれる研究開発費は、当社グループで発生した研究開発費（総額）から、共同研究開発パートナーより受領した共同研究開発費受入額を控除し、当社グループが負担した額のみを計上しております。

当社グループで発生した研究開発費（総額）、共同研究開発パートナーより受領した共同研究開発費受入額、四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に計上されている研究開発費はそれぞれ以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
研究開発費（総額）	783,528千円	719,531千円
共同研究開発費受入額	△519,728	△273,570
研究開発費	263,799	445,960